

過去のフィルムを探しています

～過去のフィルムを通して、
日本の忘れさられた姿を見る～

東海大学 文学部 広報メディア学科

水島研究室

パテ・ベビー研究プロジェクト

9.5mmフィルム（パテ・ベビー）とは

9.5mmフィルム（パテ・ベビー）とは、フランス・パテ社が開発した、小型撮影機とフィルムのことです。

日本では、1924年に伴野文三郎によって、「パテベビー映写機」が輸入、各地でパテベビーによる撮影会・コンテストが開催されました。そして、全国各地で愛好会が設立され、会報も出版されるようになりました。

しかし、1935年頃に最盛期を迎えましたが、1937年頃から戦争の影響を受けるようになり、各地で出版されていた会報は廃刊に追い込まれ、姿を消すことになりました。

研究概要

目的

- 戦前に民衆の間に流行した、9.5mmフィルム映像を通して、当時の人たちが、どのようなことを想いながら、何を撮り、何を見てきたのか、考えていきます。

結果

- ホームムービーの原点といわれる9.5mmフィルムの、メディア研究上の価値・ポジションを考察していきます。

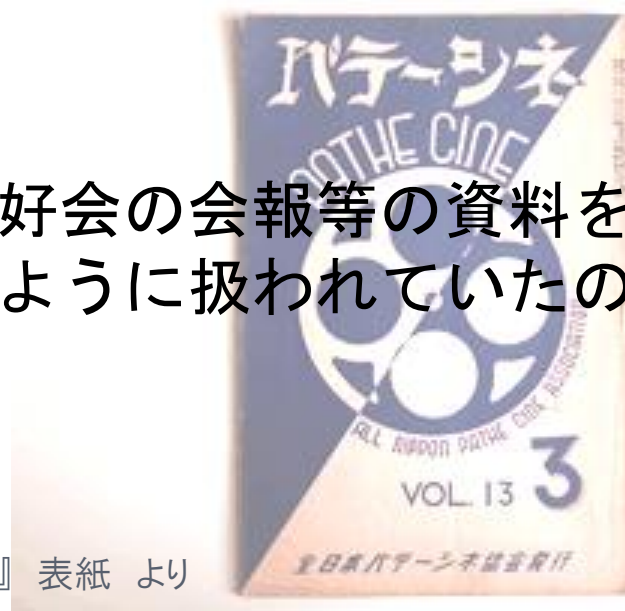
研究概要

フィルム探し

- 得た情報を基に、実際にフィールドに出て、フィルム探しを行います。

文献整理

- 当時のパテ・ベビーの愛好会の会報等の資料を通して、パテ・ベビーがどのように扱われていたのか調べます。



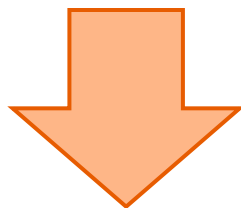
画像：1940年3月号 vol.13 NO.3『パテー・シネ』表紙 より

フィルム探しの方法について

1. 横浜コミュニティデザイン・ラボの方々のご協力の基、告知活動を行います。
2. テレビ神奈川 様が運営されている「tvkヨコハマ ネットTV」（オンデマンド放送）にて、告知番組を配信します。
3. ホームページを通して、パテ・ベビーを知ってもらい、情報提供をしてもらえるようにします。

フィルム探しに関して

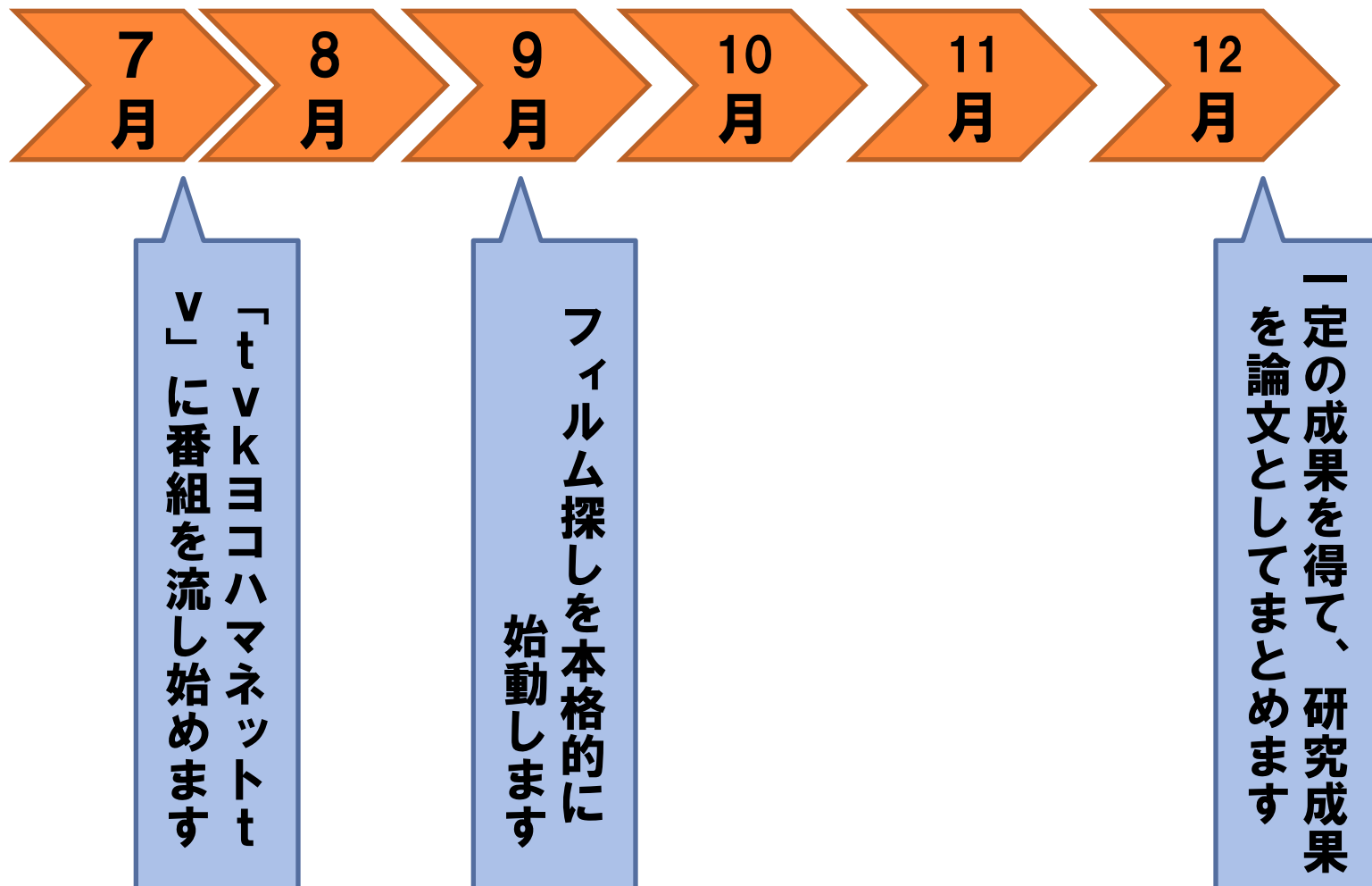
フィルム研究をするにあたり、
多くの過去のフィルムが必要になります。



過去のフィルム及び、その情報の提供をお願い致します。

* メインとなるフィルムは9.5mmフィルムですが、他の種類のフィルムの情報も得られるように、ここでは過去のフィルムと表現致しました。

今後のスケジュールについて



ご静聴ありがとうございました

ご連絡・情報提供などの際は、下記 E-MAILアドレス
にお願い致します。



東海大学 文学部 広報メディア学科 水島研究室
パテ・ベビー研究プロジェクト

pathebaby_film@yahoo.co.jp